

取扱説明書

保証書別添付

日立深井戸用コンパクトポンプ

型式

ディーエム ピー ダブリュー
〔単相〕 DM-P400W
DM-P600W

ディーエム ケー ダブリュー
〔3相〕 DM-K750W



DM-P400W

このたびは日立ポンプをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。

「安全上のご注意」→(P.4~6)をお読みいただき、正しくご使用ください。

- 据え付けは専門工事が必要です。
販売店・工事店へ依頼し、お客様自身では行わないでください。
- ご購入のポンプの型式確認は、ポンプカバーの表示をご覧ください。

HITACHI
Inspire the Next

もくじ

ご使用の前に

●各部のなまえ	2
・操作コントローラーのはたらき	3
・操作コントローラーの表示について	3
●安全上のご注意	4
●使用上のご注意	7

据え付け工事について [販売店様・工事店様用]

●据え付け前の確認	8
●据え付け時のご注意	9
●配管工事について	10
・ポンプと配管の接続	10
・配管の互換性について	10
●配線工事について	11
・アース線の接続と漏電遮断器について	11
・電源電線について	11
●試運転	12
・試運転のしかた	12
・運転状態の確認	12
●運転のしかた	13
・運転モードについて	13
・運転モードの切り替えかた	13
・運転圧力の切り替えかた	14
●除菌器の接続について	14
・結線について	14
・カルキ量の調整について	14
●防寒について	15
・凍結防止策	15

こんなときは

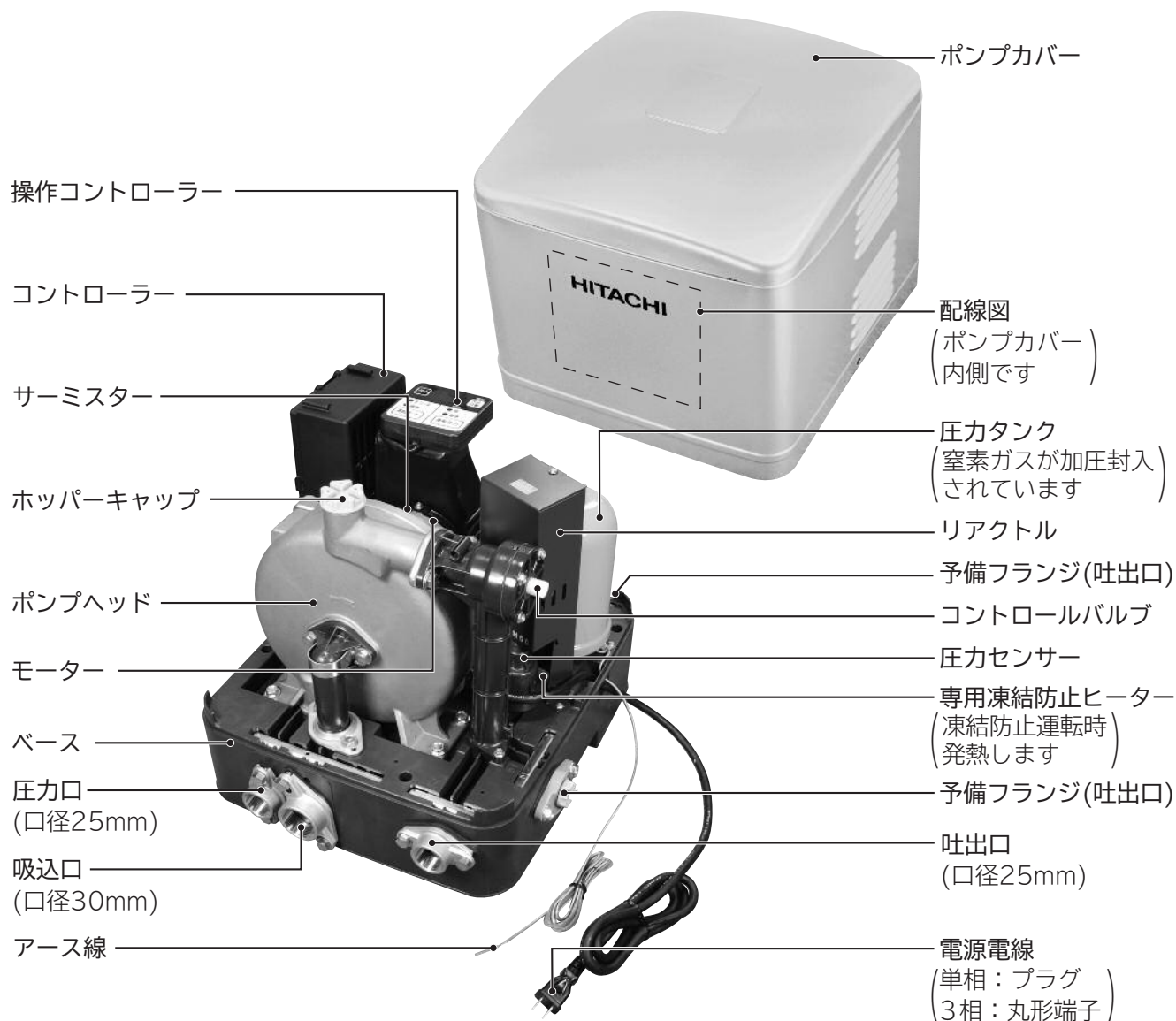
●故障かなと思ったら	16
・操作コントローラーにこんな表示が出たら	16
・漏水を確認するときは	18
●保証とアフターサービス	19

仕様

●仕様	20
-----	----

各部のなまえ

製品は検査の上お届けしておりますが、輸送中の振動などで破損や付属品の脱落などがある場合がありますので、念のため確認してください。

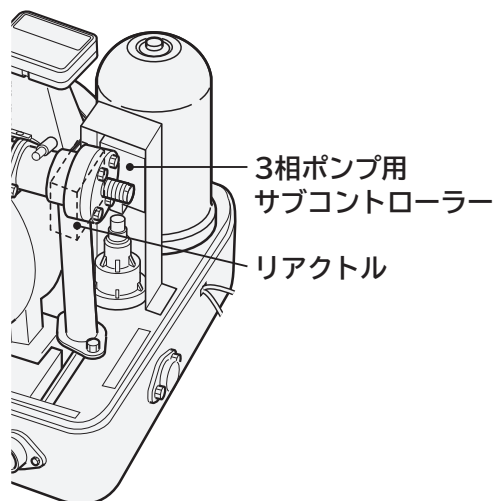


専用凍結防止ヒーター

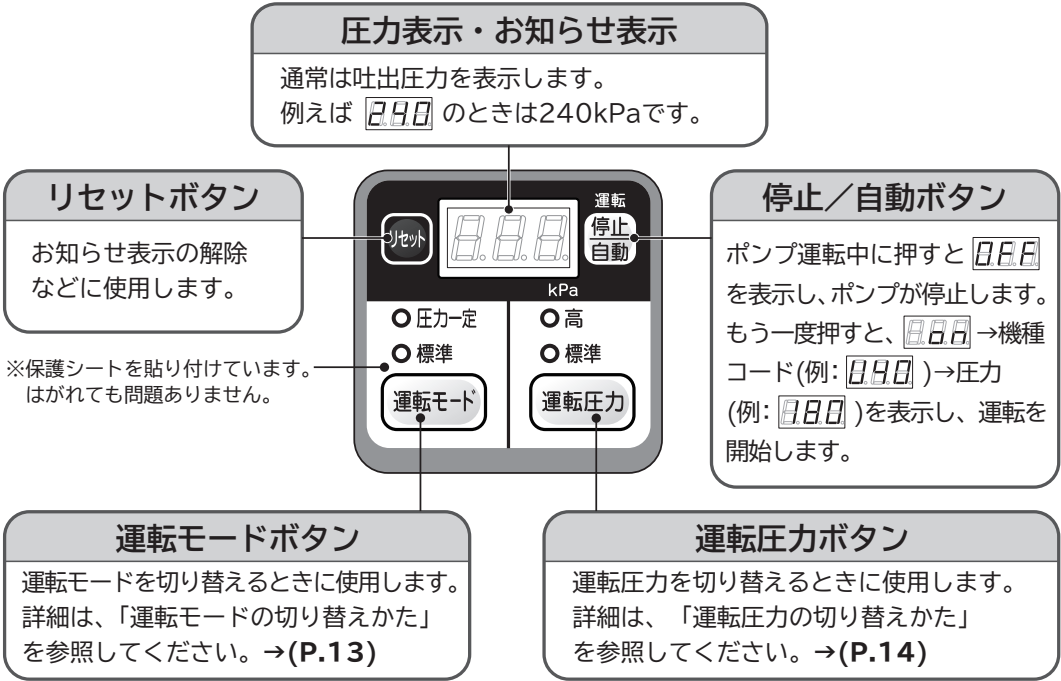
周囲温度により、専用凍結防止ヒーターに通電します。

- 通電中は、専用凍結防止ヒーターが高温になっていますので、手を触れないでください。
- 凍結防止の効果は、周囲温度－5℃までが目安です。

DM-K750Wの場合



操作コントローラーのはたらき

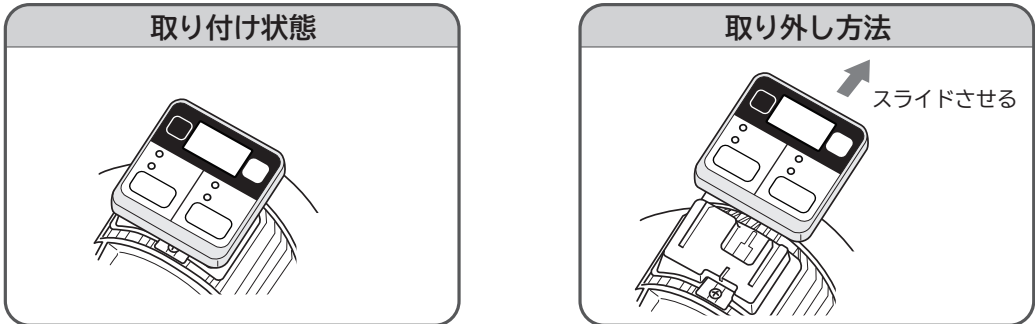


操作コントローラーの表示について

運転中の表示（吐出圧力表示は、約10分後に消灯します）

表 示		内 容
吐出圧力 点灯時	[例] 240	ポンプの吐出圧力を表示します。 モーターが停止している状態です。
	[例] 000.	ポンプの吐出圧力を表示します。 モーターが回転している状態です。(右下にドット[.]表示あり)
吐出圧力 消灯時	000.	ポンプの電源が入っており、モーターが停止している状態です。 運転モード または 運転圧力 を押すと、吐出圧力表示に戻ります。
	000.	ポンプの電源が入っており、モーターが回転している状態です。(右下にドット[.]表示あり) 運転モード または 運転圧力 を押すと、吐出圧力表示に戻ります。

操作コントローラーについて（操作しにくいときは、取り外してご使用ください）



安全上のご注意

ご使用になる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

■ここに示した注記事項は

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

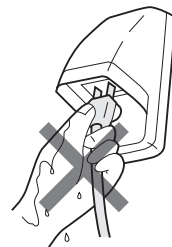
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。	絵表示の例
 注意	この表示の欄は、「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。	 「警告や注意を促す」内容のものです。
		 してはいけない「禁止」内容のものです。
		 実行していただく「指示」内容のものです。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

警告

電源プラグや電源電線は

-  ●電源プラグを抜くときは、きちんと電源プラグを持って抜く
感電やショートして発火することがあります。
- 電源プラグの刃や、刃の取り付け面にほこりが付着している場合は乾いた布でよくふく
火災の原因になります。
-  ●お手入れの際や長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜くか、ブレーカーを切る
感電やけがの原因になります。
-  ●ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
感電の原因になります。
- 傷んだ電源電線や電源プラグ、緩んだコンセントは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。
- 電源プラグは根元まで差し込む
感電やショートして発火することがあります。
- 電源電線を傷つけない
〔傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・挟み込む・たばねるなどしない〕
電源電線が破損し、発煙・発火の原因になります。
- テーブルタップによるタコ足配線はしない
発煙・発火の原因になります。
- 延長コードは使用しない
過熱し、発煙・発火の恐れがあります。



警告

配線・アース線は



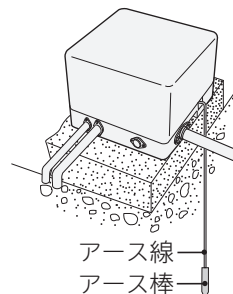
- 配線工事は電気設備技術基準や、内線規程に従って、安全に行う

誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。



- アース線を取り付け、専用の漏電遮断器を設置する

アース線を取り付けないと漏電のとき感電することがあります。
アースの取り付けは、電気工事店または販売店にご相談ください。



その他



- ポンプを水道管に直接配管しない

ポンプを水道管に直接配管することは、法律で禁止されています。



- 動かなくなったり、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常がある場合は、事故防止のためすぐに電源プラグをコンセントから抜くか、ブレーカーを切って、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼する

感電や漏電・ショートによる火災の恐れがあります。



- 分解したり、修理・改造しない

火災・感電・けがの原因になります。(修理は販売店などにご相談ください)



- ポンプに毛布や布などをかぶせたり、ポンプ内部に物を入れない

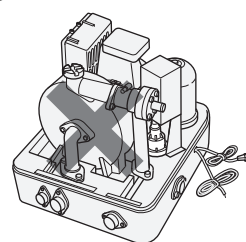
過熱による発煙・発火の原因になります。

- ポンプカバーを外したまま使用しない

雨やほこりにより絶縁劣化して、感電や火災の恐れがあります。
※ポンプカバーを取り付ける際は、電源電線およびアース線を挟み込んで傷つけないように注意してください。

- 製品が包装されているビニール袋をかぶらない

窒息の恐れがあります。



本体の近くには



- 引火物の近くには設置しない〔灯油・ガソリンタンクなど〕

爆発や火災の恐れがあります。

- ローソク、蚊取り線香、たばこなどの火気を近付けない

火災の恐れがあります。

- ポンプ本体には、磁石などの磁気を帯びたものを近付けない

誤動作することがあります。

安全上のご注意(続き)

⚠ 注意

運転前後、運転中は

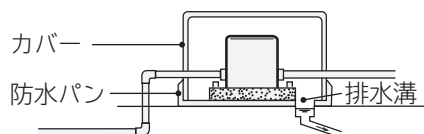


- モーター、コントローラーに触れない
高温になっていますので、やけどの原因になります。
- 空運転(水源に水のない状態での運転)はしない
ポンプ内の水が熱湯になり、やけど、故障の原因になります。
- コンセントを抜いた状態でも、操作コントローラーの表示が消えるまでコントローラーには触れない
感電の原因になります。
- 通電時は、専用凍結防止ヒーターには触れない
高温になっていますので、やけどの原因になります。

その他



- ポンプの上に物を載せたり、人が乗ったりしない
変形、脱落により、けがをする恐れがあります。
- 防水処理、排水処理されていない床面に設置しない
水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。
※床面が防水処理・排水処理されていない場合の水漏れ被害については責任を負えません。
※ポンプの寿命などで水漏れを起こした場合、発見が遅れると周囲が水浸しになり、大きな補償問題になる場合があります。



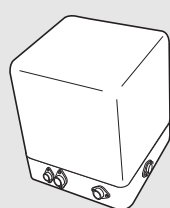
- 清水以外の液体や温水(40℃以上)には使用しない
破損により、けがや感電の恐れがあります。
- 標高1000m以上の場所には設置しない
揚水量低下の恐れがあります。
- 発電機での電源供給や、車両、船舶での使用はしない
電力が安定せずに、正常なポンプの運転ができません。
- 他社の除菌器は結線、接続しない
ポンプコントローラーの故障の原因になります。



- 製品の取り扱い時は、手袋をして作業を行う
万一のけが防止のためです。
- 据え付けは、お買い上げの販売店または、専門業者に依頼する
ご自分で据え付け工事をされ、不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。

使用上のご注意

- 別売りの「深井戸専用ジェット」または「特殊ジェット(シングルジェット)」と組み合わせて使用する



(例：深井戸専用ジェット)

※ジェットを使用しないと、呼び水がたまらない、水が上がらないなど、ポンプが正常に運転できません。

- 運転中は電源プラグを抜かない

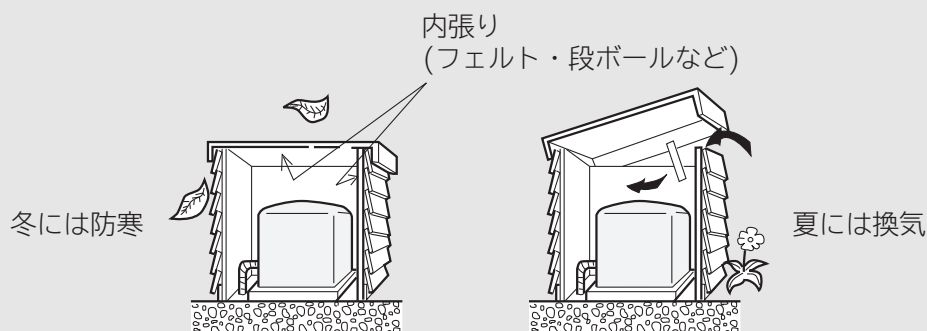
故障の原因になりますので、 を押し、ポンプを  にしてから電源プラグを抜くかブレーカーを切ってください。

- テレビやラジオなどの電子機器を近付けない

テレビ画面の乱れや、ラジオ・テレビの雑音の原因になります。

- 冬期には凍結防止策を行う

凍結による破損事故については責任を負えません。凍結防止対策を行ってください。→(P.15)



- 3～4日間以上水を使用しなかった場合は、5～6分間水栓から水を流し、水がきれいになってから使用する

- 配管の凍結防止のため、水栓から少量の水を流し続けたい

ポンプの運転・停止がひん繁になり寿命を縮める原因になります。

据え付け工事について

(販売店様・工事店様用)

【工事をされる方へのお願い】

- 製品機能が十分発揮できるように、この「据え付け工事について」の内容に沿って正しく取り付けてください。
- 据え付け後は試運転を行い、水漏れや運転状態に異常がないか確認してください。

据え付け前の確認

1 井戸の深さを調査する

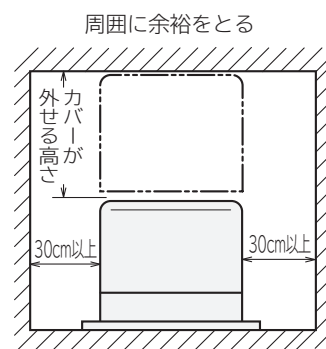
- このポンプの吸上高さは、→(P.10)になります。
渇水時のことを考慮して正確に測定してください。

2 電源を確認する

- 使用するポンプの電源と合っているか確認してください。
単相用ポンプ……単相100V
3相用ポンプ……3相200V

3 据え付け場所を確認する

- 点検・修理のしやすい場所を選んでください。
- ポンプはできるだけ井戸の近くに取り付けてください。
(横引き10mは吸上高さ1mに相当します)
- 吸上高さは、渇水時の水位低下を考えて決めてください。
- 配管や水栓の抵抗、ガス湯沸器やシャワーなどの必要最小圧力を考慮して、器具や水栓の取り付け位置(高さ)を決めてください。

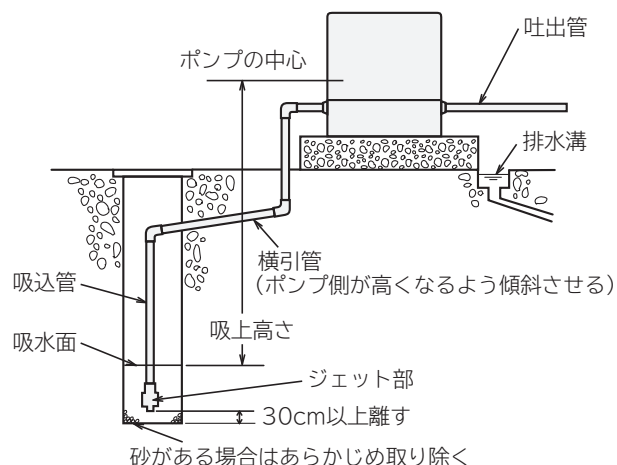


4 ほかの機器との組み合わせについて

- 除鉄・除菌システム、除菌器および浄水器と組み合わせる場合は、各器の耐水压仕様を確認してください。ポンプの停止圧が耐水压を超える場合は、減圧弁(市販品)を使用し、過大圧力が加わらないようにしてください。

5 井戸の砂を確認する

- 新しく井戸を掘られた場合は、あらかじめ井戸の砂を十分取り除いてから配管してください。
- 砂が多い場合は、別売りの「砂こし器」を取り付けてください。→(P.9)



据え付け時のご注意

⚠ 注意

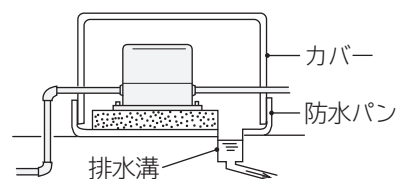


防水処理・排水処理されていない床面に設置しない

- 水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。防水パン・カバーなどで、吹き出した水が排水できるようにしてください。

※カバーは風通しがよい構造にしてください。

※床面が防水処理・排水処理されていない場合の水漏れ被害については責任を負えません。

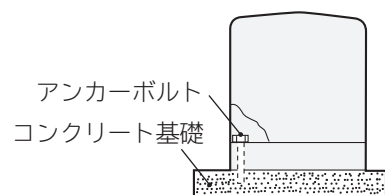


■できるだけ風雨や直射日光が当たらないところに据え付ける

- 製品を長持ちさせるため、屋外に据え付けるときは、ポンプ小屋を作ってください。

■水平に設置し、動かないようアンカーボルトで固定する

- 基礎は沈下を防ぐために、コンクリートで作ることをおすすめします。



■吸込管を共有した2台以上の並列接続はしない

- 揚水量の減少や、ポンプが正常に動作しなくなる場合があります。

■ポンプの直列接続はしない

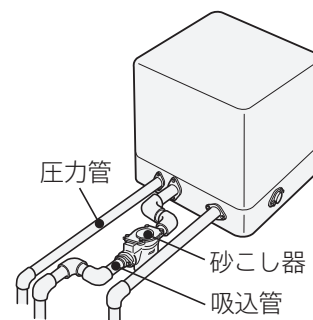
- ポンプ内の水圧が上がり、水漏れする恐れがあります。

■砂を吸い上げやすい井戸には、別売りの「砂こし器」を取り付ける

- 砂こし器はポンプの吸込側に取り付けてください。吐出側に取り付けると、砂こし器が水圧に耐えられず、水漏れする恐れがあります。
- ポンプヘッド部の砂かみや摩耗を防ぎます。

■市販の給水機器との組み合わせについて

- フラッシュバルブを使うと、いったん水が途切れますので使用は避けてください。
- ボイラーへの給水は、減圧弁を使用してボイラーに過大圧力が加わらないようにしてください。



ご注意 ●ポンプ吐出圧力は、「仕様」→(P.20)を参照してください。

■組み合わせる別売りの深井戸専用ジェット、または特殊ジェット(シングルジェット)は、吸上高さに適したものを使う

- 井戸径が小さい場合は、特殊ジェット(シングルジェット)をお使いください。

※ジェット型式と必要井戸径は、「使用する配管口径」を参照してください。→(P.10)

吸上高さとジェット部品(別売り)型式の関係

ポンプ型式	吸上高さ			
	12~18m	18~24m	18~30m	24~35m
DM-P400W	J75-24W (J40-24SW)	J75-35W (J40-24SW)	J75-35W	—
DM-P600W	J75-24W (J40-24SW)	J75-24W (J40-24SW)	—	J75-35W
DM-K750W	J75-24W (J40-24SW)	J75-24W (J40-24SW)	—	J75-35W

()内は、特殊ジェット(シングルジェット)

配管工事について

ポンプと配管の接続

使用する配管口径

吸込側の配管の接続方法は、深井戸専用ジェットまたは深井戸専用シングルジェットの取扱説明書をご覧ください。
市販のパルプ用ソケットを用意して、下記の配管口径の水道用硬質塩化ビニル管で接続してください。

ポンプ型式	吸込側				吐出管の 配管口径
	ジェット型式	必要井戸径	吸上高さ	吸込管の配管口径	
DM-P400W DM-P600W DM-K750W	J75-24W	VP100以上 (100mm以上)	12m～35m (DM-P400Wは12～30m)	吸込管 30mm	25mm
	J75-35W			圧力管 30mm	
	J40-24SW	VP50専用	12m～24m	吸込管 30mm 圧力管 25mm	

配管工事の際のお願い

⚠ 警告



ポンプを水道管に直接配管しない

●ポンプを水道管に直接配管することは、法律で禁止されています。

■ポンプ内に異物が混入しないようジェットに付属のストレーナーを取り付ける

■配管の継ぎ目は空気の吸い込みや水漏れがないように行う
●性能低下の原因になります。

■配管工事の際、配管の中に切りくずや小石、接着剤が入らないようにする
●ポンプの羽根車や逆止弁、ジェット部につまり、揚水不能の原因になります。

■吐出口の位置を変えるときは、吐出フランジ、予備フランジをボルトとともに交換する→(P.2)

■圧力口のパッキンは取り付けてあるフィルターパッキンを付ける

■固定金具の取り付け

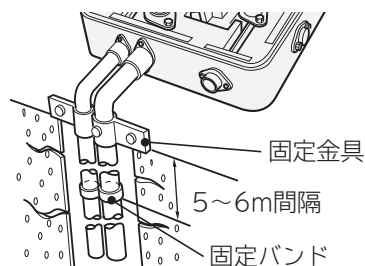
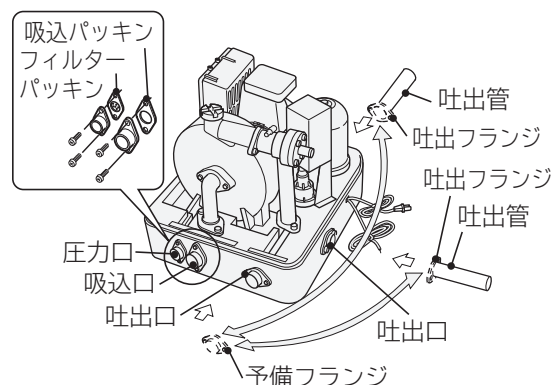
●ジェット部および配管質量がポンプに加わらないように吸込管、圧力管を固定してください。

■固定バンドの取り付け

●井戸の中に入る吸込管と圧力管の広がりなくするため、5～6m間隔で取り付けてください。
固定バンドは8の字形に取り付けます。井戸径が100mmの場合は、吸込管と圧力管の間に取り付けます。

■水の抵抗を少なくするため、配管はできるだけ短く、曲げる個所を少なくする
●性能低下、揚水不能の原因になります。

■吐出口には仕切弁(ストップバルブ)を取り付ける
●点検・修理の際に必要です。



配管の互換性について

●従来ポンプ(V形以前)との互換性があります。配管は既設のまま接続できます。

ご注意

●ポンプ交換時に、ジェットも併せて交換することをおすすめします。
老朽化などにより、圧力が上がらないなどの不具合が発生する恐れがあります。

配線工事について

⚠ 警告



配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全に行う

●誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。



テーブルタップによるタコ足配線はしない

●発煙・発火の原因になります。

- ほかの電子機器などへ悪影響を与えないため、専用の配線にしてください。
- 同一分岐回路に照明器具がありますと、ポンプの起動時、照明器具がちらつくことがあります。
- 本製品はマイコンにて制御していますので、運転時の電圧が低くならないよう（定格電圧の±10%以内）にしてください。

アース線の接続と漏電遮断器について

⚠ 警告



アースを取り付け、専用の漏電遮断器を設置する

●故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

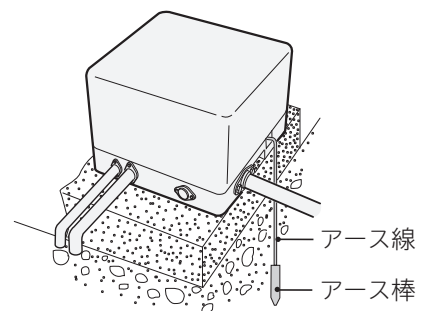
- 万一、漏電したときの感電事故を防ぐため、取り付けてください。（取り付けは有料です）
- アースおよび漏電遮断器に関する工事は、専門工事（電気工事士が行います）が必要です。
- 工事の際は、電源プラグをコンセントから抜くか、ブレーカーを切った状態で接続してください。

アース線の接続について

- D種接地工事（第3種接地工事）をしてください。
既設のアース線があるときは、D種接地（第3種接地）を満足していることを確認してから接地してください。

ご注意

- 次のようなところには、アース線を接続しないでください。（法令などで禁止）
ガス管、電話線、避雷針、水道管（水栓）



漏電遮断器について

- 漏電遮断器は⚡マークのある感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下で、定格電流以上のものを電路に取り付けてください。
- 既設の漏電遮断器があるときは、上記の確認をしてください。

電源電線について

●単相用ポンプのとき

専用のコンセントを設けて、電源プラグを差し込んでください。
やむをえず屋外にコンセントを設けるときは、防水形コンセントを使用してください。

●3相用ポンプのとき

電源側にはブレーカーを設け、ブレーカーの端子部に接続してください。

試運転

試運転のしかた

- 1 ホッパーキャップを外し、吸込管、圧力管、ポンプヘッド内に呼び水を十分に入れたあと、ホッパーキャップをねじ込む
- 2 吐出側のすべての水栓を開く
- 3 コントロールバルブの調整ねじを、ねじ部が隠れる程度までねじ込む
- 4 電源プラグをコンセントに差し込む

→機種コード（例：DM-P400Wの場合 ）→
圧力が表示され、ポンプが運転を開始し、数秒間で揚水します。

型 式	機種コード
DM-P400W	U40
DM-P600W	U60
DM-K750W	U75

- 5 コントロールバルブの調整ねじを、少しずつ緩める

耳ざわりの音が発生したら、コントロールバルブの調整ねじを1～2回転ねじ込んでください。

※コントロールバルブの調整を圧力計を用いて行う場合は、
ジェットの取扱説明書をご覧ください。

※数分たっても揚水しないときは、呼び水が不足している場合があります。

その際は、 を押してポンプを停止し、再び呼び水をしてください。ポンプを停止すると、 が表示されます。

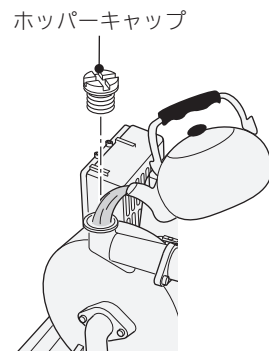
呼び水をしたら、再度 を押してください。ポンプが運転を開始します。

- ご注意**
- 空運転によるポンプの傷みを防ぐため、ポンプに呼び水をしないうちに運転しないでください。
 - 電源プラグをコンセントに差し込むと、ポンプは自動的に運転するので注意してください。
 - 吐出圧力表示は約10分後に消灯します。→(P.3)

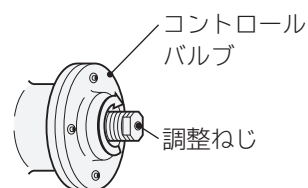
呼び水のしかた

据え付け後、運転のはじめにホッパーキャップを外して呼び水を入れます。

- モーター、コントローラー、リアクトルなどの電気部品に水がかからないように注意してください。



- 数分で揚水しない場合は、再び呼び水をしてください。



運転状態の確認

- 1 運転を開始したら水栓を開閉し、ポンプの運転状態や、漏水がないか確認する
- 2 水栓を閉じてポンプが停止することを確認する
ポンプの起動頻度を抑えるため、水栓を閉じた状態でもタイマーが働き、しばらく運転しますが、異常ではありません。
- 3 ポンプカバーをかぶせてねじ止めする

- ご注意** ●水栓を閉じたあと、凍結防止運転()を開始する場合がありますが、異常ではありません。水栓を開いて、水を使用すると通常運転に戻ります。

運転のしかた

運転モードについて

工場出荷時は、運転モードを「標準」に設定しています。必要に応じて「圧力一定」に切り替えて使用してください。ただし、配管や水栓から水漏れしている場合は、「標準」をおすすめします。

また、使用状態や用途に応じて、運転圧力を切り替えることができます。→(P.14)

「標準」モードの運転圧力について

ポンプの起動圧力(ON圧力)・停止圧力(OFF圧力)を定め、ポンプを断続運転させる運転モードです。運転圧力の設定により、起動圧力(ON圧力)・停止圧力(OFF圧力)が下表のように変わります。

型 式	運転圧力	押上高さ	標準	
			ON圧力	OFF圧力
DM-P400W DM-P600W	「標準」(工場出荷時)	16m	180kPa	240kPa
	「高」	26m	280kPa	340kPa
DM-K750W	「標準」(工場出荷時)	16m	180kPa	240kPa
	「高」	29m	310kPa	370kPa

「圧力一定」モードの運転圧力について

ポンプの吐出圧力の変動を「標準」より抑えた運転モードです。制御圧力(吐出圧力)は、下表の設定となっております。

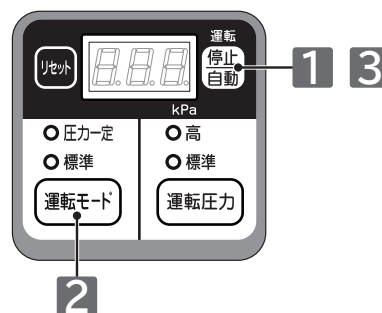
型 式	運転圧力	押上高さ	圧力一定	
			ON圧力	制御圧力
DM-P400W DM-P600W	「標準」(工場出荷時)	18m	200kPa	240kPa
	「高」	28m	300kPa	340kPa
DM-K750W	「標準」(工場出荷時)	18m	200kPa	240kPa
	「高」	31m	330kPa	370kPa

●少量水使用時は、制御圧力とON圧力の範囲で圧力変動する場合があります。

ご注意 ●吸上高さが18m以上の場合は、運転圧力「高」を使用できません。
(ポンプが停止しない場合があります)

運転モードの切り替えかた

- 1 **停止自動** を押し、ポンプを **OFF** にする
- 2 **運転モード** を押し、希望のモード(● 標準 または ● 圧力一定)のランプを点灯させる
- 3 **停止自動** を押す



ご注意 ● **停止自動** を押す前に **リセット** を押すと、設定前に戻ります。

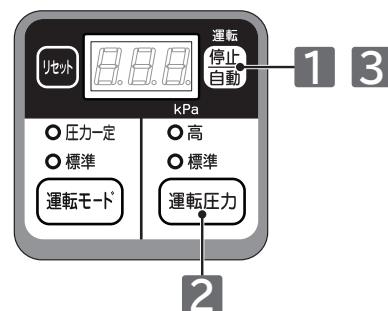
●各ボタン(**停止自動** **運転モード** **運転圧力**)を長押しすると、サービス機能(→(P.16)記載以外)を表示することがあります。

万一、サービス機能が表示された場合は、**リセット** を押してください。

運転のしかた（続き）

運転圧力の切り替えかた

- 1 **停止自動** を押し、ポンプを **OFF** にする
- 2 **運転圧力** を押し、希望のモード(● 標準 または ● 高)のランプを点灯させる
- 3 **停止自動** を押す



- ご注意** ● **停止自動** を押す前に **リセット** を押すと、設定前に戻ります。
- 各ボタン (**停止自動** **運転モード** **運転圧力**) を長押しすると、サービス機能(→(P.16)記載以外)が表示されることがあります。
- 万一、サービス機能が表示された場合は、**リセット** を押してください。

除菌器の接続について

- ご注意** ● 他社除菌器は結線できません。ポンプコントローラー故障の原因になります。
- 日立除菌器を下記のサービス部品で結線する場合は、1台としてください。
- 複数台接続すると、ポンプコントローラーの許容電流(2A)を超え、ポンプコントローラー故障の原因になります。

除菌器はポンプの運転状態に応じて間欠運転をします。

結線について

除菌器を接続する際は、除菌器の型式に応じて下記サービス部品を購入してください。
詳細はサービス部品の説明書をご覧ください。

	組み合わせ除菌器			
	CS-20J1以前	CS-20NS	CS-30S、CS-30S2、CS-30V、CS-30V2、CS-130W、CS-230W	
部 品 名	セツゾクコネクタ(CS)	サービス部品不要	配管接続の場合	ポンプで制御する場合
部品番号	CS-20J1 002		サービス部品不要	テイソクウンテンハーネス CS-30S 021
希望小売価格	400円(税別)	—	—	1,500円(税別)

※希望小売価格は、価格改正に伴い、変更する場合があります。

カルキ量の調整について

除菌器接続後はカルキ量の調整を再度行ってください。
(カルキ量の調整方法は、除菌器の取扱説明書をご覧ください)

防寒について

暖かい地方でも冬期には寒波急襲によって、ポンプや配管が凍結し破損することがあるため、凍結防止策を行ってください。

※凍結による破損事故については責任を負えません。

警告



ポンプに毛布や布などをかぶせたり、ポンプカバー内に燃えやすい物を入れない

●過熱して発煙・発火することがあります。

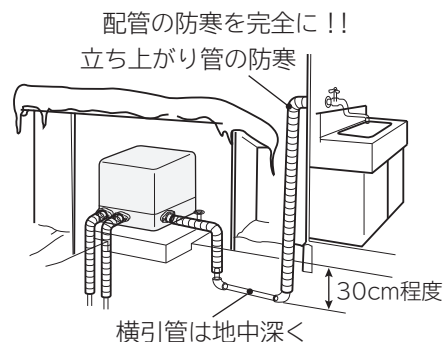
凍結防止策

配管

- 横引き部分……地中に埋めてください。
- 地上の露出部分……保温材を使用してください。
寒冷地では市販の水道凍結防止帯をご使用ください。

ポンプ

- 屋外に据え付けるときは、ポンプ小屋を作ってください。
小屋は夏に換気ができるようにしてください。



凍結防止運転

- 凍結温度に達すると、ポンプを自動的に断続運転させるとともに、専用凍結防止ヒーターに通電して、ポンプヘッドの凍結を防止する機能が作動します。
- 凍結防止の効果は周囲温度が -5°C ぐらいまでが目安です。
※凍結防止運転については、「操作コントローラーにこんな表示が出たら」をご覧ください。→(P.16)

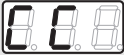
故障かなと思ったら

修理を依頼される前に

次の点をもう一度お調べください

操作コントローラーにこんな表示が出たら

お知らせ表示（販売店、工事店へ連絡し、お客様は処置しないでください）

表 示	内 容	確認するところ
 空運転	井戸の水位低下やポンプの呼び水が落ちた場合に表示し、ポンプが停止します。	●井戸の水位や逆止弁からの水落ちを確認してください。
 欠相 (3相ポンプのみ)	電源の1線が断線した場合に表示し、ポンプが停止します。	●電源コネクタの差し込みや電源線断線などを確認してください。 ●青コネクタは差し込まれていますか。
 ポンプヘッド 過昇温	空運転や漏水などでポンプヘッドが異常に高温となった場合に表示し、ポンプが停止します。 (約45℃まで温度が下がると自動復帰します)	●井戸の水位低下や逆止弁からの水落ちを確認してください。 ●ポンプや配管からの漏水がないか確認してください。 ●毛布や断熱材でポンプを覆うなどの過剰な防寒をしていませんか。 ●羽根車やジェット部にゴミ詰まりがないか確認してください。
 不足電圧	異常に低い電源電圧が印加された場合に表示し、ポンプが停止します。	●電源コードを延長していませんか。 ●同じコンセントにほかの機器を接続していませんか。
 過電流 または モーターロック	砂かじりなどによって羽根車がロックし、異常な電流が流れたときやモーター信号線の断線などの場合に表示し、ポンプが停止します。	●ケーシング内の異物除去や羽根車などの固着がないか確認してください。
 圧力センサー断線	圧力センサーからの信号が入らない場合に表示し、ポンプが停止します。	●圧力センサーのコネクタは差し込まれていますか。
 サーミスター断線	サーミスターからの信号が入らない場合に表示し、ポンプが停止します。	●サーミスターのコネクタは差し込まれていますか。
 欠相 (3相ポンプのみ)	電源の1線が断線した場合に表示し、ポンプが停止します。	●電源コネクタの差し込みや電源線断線などを確認してください。 ●青コネクタは差し込まれていますか。
 高圧力	ポンプ内圧が500kPa以上の場合に表示します。	●水道管直結になっていないか確認してください。 ※ポンプを水道管に直接配管することは、法律で禁止されています。
 凍結防止運転	周囲の温度が約3℃になると自動的にポンプを運転させ、ポンプヘッドの凍結を防止します。 凍結防止運転中に水を使用しますと、通常運転に戻ります。	—
 コントローラー 過昇温	コントローラー内が異常に高温となった場合に表示し、ポンプが停止します。	●モーターとコントローラーの間に取扱説明書などのはさみ込みがないか確認してください。 ●毛布や断熱材でポンプを覆うなどの過剰な防寒をしていませんか。

症 状	確認するところ	直しかた
ポンプが回らない	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。	電源プラグを差し込んでください。
	ブレーカー、漏電遮断器が切れていませんか。	ブレーカー、漏電遮断器を確認してください。
	お知らせ表示が出ていませんか。	お買い上げの販売店または工事店へご連絡ください。
ポンプが止まらない	水栓、配管から漏水していませんか。→(P.18) (漏水チェック機能でポンプ停止→圧力低下)	配管を修理してください。
	ジェット内部のノズルが、ゴミ詰まりしていませんか。→(P.18) (漏水チェック機能でOFF圧力まで上がらない)	ジェット部を分解して、内部を掃除してください。
	水位が低下していませんか。	水位を確認してください。 規定の吸上高さより深い場合は、機種を変更してください。
	 表示が出ていませんか。	凍結防止運転を行っている ので、異常ではありません。
使用していないのに ポンプが起動する	水栓、配管から漏水していませんか。→(P.18) (漏水チェック機能でポンプ停止→圧力低下)	配管を修理してください。
モーターは回るが揚水 しない	水位、配管の長さを確認してください。	配管を修理、または吸上げに 余裕がある場合は、吸込管を 延長する。
	吸込管から空気を吸い込んでいませんか。 吸込管の各つなぎ目部を点検・確認してください。	配管を修理してください。
吐出圧力表示・お知らせ 表示が点灯しない	 [ドット] 表示になっていませんか。	待機電力を抑えるため吐出圧 力表示は約10分後に消灯しま すので、異常ではありません。

故障かなと思ったら(続き)

漏水を確認するときは

- 1  を押して  にする
- 2 水栓を開き、水栓から水が出なくなったのを確認後、水栓を閉じる
- 3  表示している状態で、 を押し続ける

ポンプが強制運転を開始します。

圧力が強制運転停止圧力値以上に上昇して、ポンプが自動停止するまで  を押し続けます。

吸上高さによっては強制運転停止圧力値まで上昇しない場合があります。

圧力値が上昇しなくなったら、 を離してください。

型 式	運転圧力	強制運転停止圧力
DM-P400W	「標準」(工場出荷時)	約340kPa
DM-P600W	「高」	約420kPa
DM-K750W	「標準」(工場出荷時)	約340kPa
	「高」	約450kPa

※ **3** の状態(ポンプ停止)で、圧力値が低下する場合は、漏水がないか確認してください。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

保証書(別添)

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読み のあと、大切に保存してください。なお、食品や動植物の補償など、製品修理以外の責はご容赦ください。保証期間内でも次の場合には原則として有料修理にさせていただきます。

- (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障および損傷。
- (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障および損傷。
- (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、そのほか天災地変、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障および損傷。
- (ニ) 一般家庭用以外《例えば業務用などへの長時間使用および車両（車載用を除く）、船舶への搭載》に使用された場合の故障および損傷。

保証期間：お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の保有期間

ポンプの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」→(P.20)にお問い合わせください。

転居されるとき

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。
ご転居先での日立の家電取扱店を紹介させていただきます。
電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても部品の交換は不要です。

修理を依頼されるときは

出張修理

16、17ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。
※修理点検でポンプ以外に原因があった場合は、保証期間内でも有料になることがあります。

保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	深井戸用コンパクトポンプ
型式	ディーエムピー ダブルユー DM-P400Wなど
製造番号	3000001など
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金の仕組み

修理料金=技術料+部品代+出張料などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。そのほか修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検



長年ご使用のポンプの点検を！〔2～3年に一度点検を依頼してください(有料)〕

ご使用の際、このような症状はありませんか？

- 運転するとブレーカーや漏電遮断器が作動する。
- ポンプは運転するが、水栓を開いても水が出ない。
- 水を使用していないのに、ポンプが運転する。
- コード類に“ひび割れ”や“傷”がある。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 水漏れがする。(ポンプヘッド部、圧力タンク、継ぎ手など)
- 焦げ臭い“におい”がする。
- 触るとビリビリと電気を感じる。
- その他の異常がある。

ご使用中

このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜くか、ブレーカーを切ってから販売店に点検・修理をご相談ください。

保証とアフターサービス (続き)

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈り物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。
※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
家電ビジネス情報センターへ

TEL 0120-3121-19

FAX 0120-3121-34

(受付時間) 9:00~17:30 (月~土)

日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。携帯電話、PHSからもご利用できます。

修理に関するご相談は
エコセンターへ

TEL 0120-3121-68

FAX 0120-3121-87

(受付時間) 9:00~19:00(月~土)、9:00~17:30(日・祝日)

携帯電話、PHSからもご利用できます。

出張修理のご用命はインターネットからお申込みいただけます。

URL <http://kadenfan.hitachi.co.jp/afterservice/toiawase.html> または

日立家電修理

検索

「お問い合わせ」ページの「出張修理のWeb受付」ボタンより入力画面にお進みください。

(注) 対象製品をご確認のうえお申込みください。

- 「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介します。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

仕様

この製品は日本国内用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

深井戸用コンパクトポンプ

型 式			DM-P400W		DM-P600W		DM-K750W	
相 ・ 定 格 電 圧			単相100V		単相100V		3相200V	
モ ー タ 定 格 出 力			400W		600W		750W	
定 格 消 費 電 力			1005W		1150W		1350W	
定 格 周 波 数			50-60Hz					
制 御 方 式			PAMインバーター制御					
			標準	高	標準	高	標準	高
運 転 圧 力	標 準	ON圧力	180kPa	280kPa	180kPa	280kPa	180kPa	310kPa
		OFF圧力	240kPa	340kPa	240kPa	340kPa	240kPa	370kPa
	圧 力 一 定		240kPa	340kPa	240kPa	340kPa	240kPa	370kPa
揚 水 量 (L/min)			38(全揚程28m時)		39(全揚程28m時)		40(全揚程28m時)	
吸 上 高 さ (※)			12～30m		12～35m		12～35m	
押 上 高 さ			16m	24m	16m	24m	16m	28m
配 管 口 径 (※)	吸 込 管	30mm						
	圧 力 管	25mmまたは30mm						
	吐 出 管	25mm						
質 量			26kg		26kg		26kg	

※吸上高さおよび配管口径は、組み合わせるジェット(別売り)により異なります。詳細は→(P.9)をご参照ください。

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼される
とき、お役に立ちます。

ご購入店名

電話

ご購入年月日

年

月

日

日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03) 3502-2111